

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

上飯田地域ケアプラザは上飯田地区、いちよう団地地区、上飯田団地地区の3地区を担当しています。3地区に共通する課題として、高齢化がすすみ地域活動の参加者が減少し、また地域活動の担い手も活動の継続が難しくなっているのが現状です。体力が低下しても可能な限り地域とのつながり、地域の活動に関心を持ってもらい、新たな担い手を発掘していけるよう支援していきます。ケアプラザとして地域のサロンなどの活動の後方支援やお祭りへの出店など、新しい生活様式に対応しながら地域活動への協力を行います。また外出困難な方への社会参加のために、近隣福祉施設と連携して地域での移動支援サービス体制を継続・実施していきます。加えて今年度は買い物支援サービスを継続実施していきながら、住民のニーズを反映した事業の展開と周知の方法について検討していきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	介護者のつどいを偶数月で開催し、奇数月には傾聴コーナーを設けるとともにレクなども行っていきます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域内サロン(脳トレ教室)が担い手不足によって2件相次いで閉鎖しました。周辺に代わりとなる活動がなく高齢者の居場所作りが必要なので、ケアプラザを会場として定期的な高齢者の居場所作り(楽遊会)を開催していきます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域活動の本格再開に向け適切な支援をしていきます。 事業(移動販売等)を近隣の小学校(飯田北いちよう小学校)の力を借りて展開します。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コロナ禍で地域活動が停滞し、ボランティアの人数も活動も少なくなっているため、シニアボランティアポイント説明会を開催し、ボランティア養成に努め、地域活動の活性化を目指します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	情報共有ツールの活用を促進したり、医療機関との連携をスムーズに行うために、医療連携に関する研修を企画・実施していきます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

○介護者のつどいは隔月に開催し、奇数月は認知症の方や介護者(特に虐待疑いの方)を訪問し傾聴を行い介護疲れの軽減に務めました。
 ・地域に出向いて、つどいのパンフレットを配ったり自治会役員・民生委員の方に説明会を開き周知を行いました。
 ・映画鑑賞が好評だったので次年度はミニコーナーの内容を楽しめるものを考え声かけして集う場にしていく予定です。
 ・集いの参加者はお互いに声かけあったりとコミュニケーションが取れ良い関係ができています。
 ○継続が難しいサロンおよび閉鎖を決めたグループに、10月より包括主体で会場を借りサロンを開催しました。今後も定期的に実施・支援していきます。
 ・楽遊会を毎月1回実施しました。参加者の「ケアプラザまで遠く来るのがやっと」との声を受け、他の場所でも脳トレ教室を単発で実施、居場所として自治会館で定期的なサロンを開催するきっかけとなりました。
 ○本格再開した「高齢者食事会」や「お祭り」に対し、福祉施設の送迎車両を活用して“移動支援サービス”を実施しました。
 ・今後の定例会で小学校との連携について協議検討する予定です。
 ○今年度中に一度、シニアボランティアポイント登録説明会を実施し、新規ボランティアの養成に努めます
 ○ケアマネジャー向けの勉強会の中では医療情報共有ツールの紹介を行いました。区内歯科医とケアマネジャーの意見交換会を実施しました。
 ・在宅医療相談室で行われている多職種連携会議・事例検討会・人材育成研修に参加しました。

区からのコメント

・介護者の負担軽減に向け、偶数月と奇数月で集いと訪問を交互に行ったり、参加者の声を踏まえた場所で脳トレ教室を展開するなど、効果的な事業展開に向け、様々な工夫をした取組が行われています。次年度も引き続き、地域の課題や声をふまえた事業の展開を期待しています。
 ・生活支援体制整備事業では、泉区アクションプランの着実な推進のため、区内生活支援コーディネーターが一丸となって取組を進められています。また、地域活動も本格的に再開となり、「高齢者食事会」や「お祭り」等で、福祉施設の送迎車両を活用した“移動支援サービス”の実施や移動販売等、施設や企業等と連携したさまざま取組も実施されています。次年度も引き続き、多様な主体と連携した取組の推進を期待しています。
 ・地域活動の支援では、ケアプラザ以外の場所を会場として開催、会場までの移動支援を行う等、地域との交流を継続できるような事業が実施されています。今後も、担い手の確保に向けた取組や、体力が低下しても可能な限り地域とのつながり、地域の活動に関心を持ってもらい、新たな担い手を発掘していけるよう、後方支援や自主事業に期待しています。